

CASE 04

# 魚沼市における農業に関する分析

はじめに

分析結果

- 1 新潟県内の主要農産物
- 2 魚沼市における農業部門別販売金額の比較
- 3 魚沼市内6地区における農産物販売金額の比較
- 4 全国・新潟県におけるユリ切り花の作付面積及び出荷量
- 5 魚沼市における農業生産関連事業の実施状況

まとめ

コメント

## 魚沼市における農業に関する分析

## はじめに

魚沼市は、全国的なブランドである魚沼産コシヒカリの産地として知られているが、全国有数のユリの産地でもある。

本分析ではRESASを活用して、ユリの販売動向と今後の課題を整理した。

## 分析結果

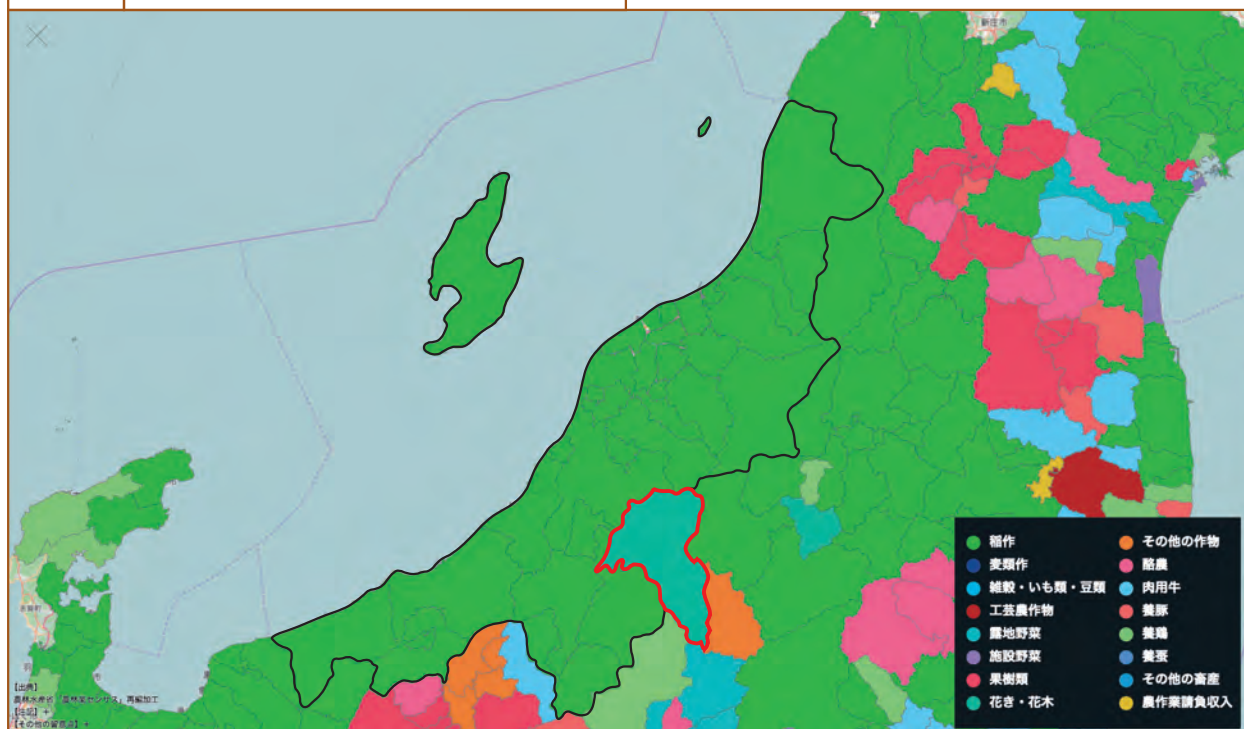
## 1 新潟県内の主要農産物

RESASの産業構造マップ「農業の構造」を使って、新潟県内の各市町村において、販売金額が一番多い農産物を見ると、県内で唯一、魚沼市だけは「花き・花木」となっている。これに対して、他の市町村は「稲作」となっている（図表1）。

## 2 魚沼市における農業部門別販売金額の比較

魚沼市では2005年時点で、「稲作」の販売金額が36億8,460万円となり、最も販売金額が多い農産物であった（図表2・上）。しかし、10年には、「花き・花木」が39億5,735万円と最も多くなっている（図表2・下）。05年と比べると、「稲作」の販売金額が5億7,960万円減少する一方、「花き・花木」の販売金額は13億7,530万円増加している。

図表1 産業構造マップ「農業の構造」新潟県魚沼市

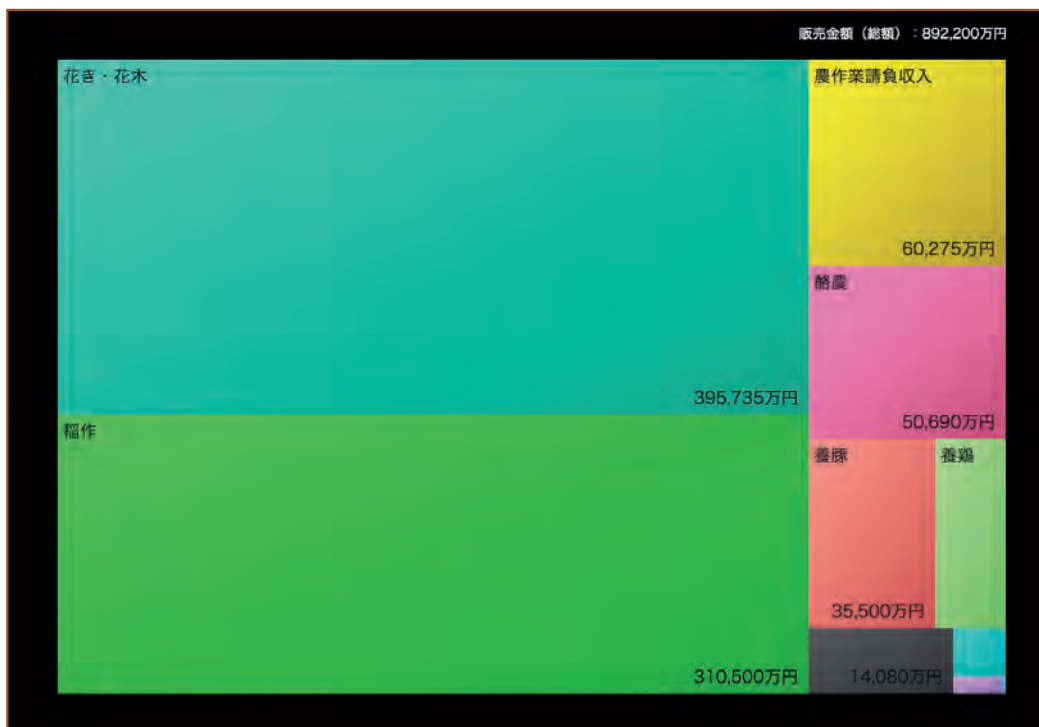
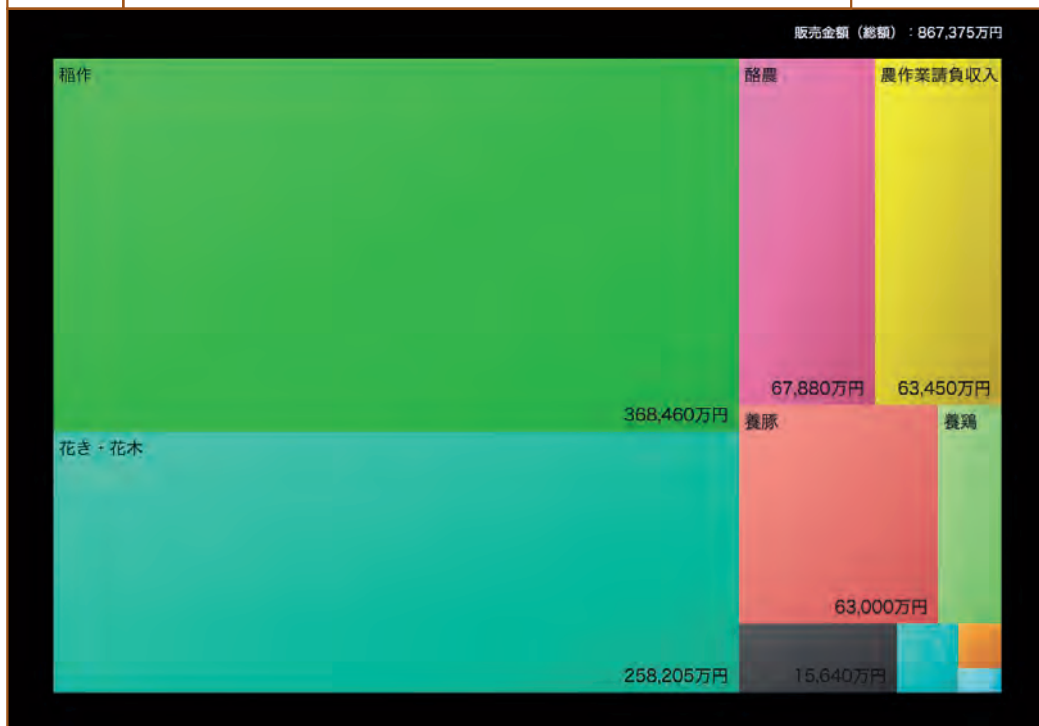


(資料) RESAS

## 【RESASの操作手順】

RESASトップ→メインメニュー→産業構造マップ→農業→農業の構造→表示レベルを指定する【市区町村単位で表示する】→【新潟県】【魚沼市】→表示年を指定する【2010年】→主要作物をマップで表示する

図表2 産業構造マップ「農業の構造」農業部門別販売金額 新潟県魚沼市



(資料) RESAS

[RESASの操作手順]  
 RESASトップ→メインメニュー→産業構造マップ→農業→農業の構造→表示レベルを指定する【市区町村単位で表示する】→【新潟県】【魚沼市】→表示年を指定する【2005年・2010年】

## 魚沼市における農業に関する分析

## 3 魚沼市内6地区における農産物販売金額の比較

RESASの産業構造マップ「農業の構造」では、旧市区町村単位のデータをダウンロードし、分析することができる。そこで、このデータをもとに魚沼市内の6地区における10年の農産物の販売金額をまとめたのが図表3である。図表3をみると、「稲作」は広神地区の販売金額が最も多く、次いで小出地区、守門地区となっている。

一方「花き・花木」は堀之内地区の販売金額が最も多くなっている。なお、堀之内地区における10年の農産物販売金額（合計）は45億6,050万円となっており、このうちの約9割が「花き・花木」である。堀之内地区における「花き・花木」のほとんどは「ユリ」関連とみられる。

図表3 魚沼市内6地区における農産物販売金額

	2005年				2010年			
	販売金額合計（万円）				販売金額合計（万円）			
		稲作	花き・花木	その他		稲作	花き・花木	その他
堀之内地区	338,625	46,270	252,485	39,870	456,050	36,210	391,980	27,860
小出地区	122,550	95,600	3,350	23,600	107,225	84,925	2,500	19,800
湯之谷地区	96,150	32,785	0	63,365	79,400	30,910	0	48,490
広神地区	202,150	108,140	2,370	91,640	163,325	88,985	1,230	73,110
守門地区	82,600	65,820	0	16,780	65,450	53,795	25	11,630
入広瀬地区	25,250	19,845	0	5,405	20,750	15,675	0	5,075
<b>魚沼市全体</b>	<b>867,375</b>	<b>368,460</b>	<b>258,205</b>	<b>240,710</b>	<b>892,200</b>	<b>310,500</b>	<b>395,735</b>	<b>185,965</b>

（資料）RESAS 産業構造マップ「農業の構造」ダウンロードデータを基に作成

（注）端数調整のため、2005年の魚沼市全体の「販売金額合計」および「その他」と6地区の「販売金額合計」および「その他」の合計は一致しない

## 4 全国・新潟県における ユリ切り花の作付面積及び出荷量

「ユリ」栽培の全国的な位置付けを確認するため、農林水産省「花き生産出荷統計」をみると、15年時点で新潟県はユリ切り花の作付面積が全国第1位、出荷量が第3位となっており、全国有数のユリの産地となっている（図表4）。

次に、新潟県におけるユリ切り花の作付面積及び出荷量の推移をみると、作付面積は05年から09年まで、出荷量は05年から08年まで増加基調にあったものの、作付面積は10年以降、出荷量は09年以降、減少基調に転じている（図表5）。同様に、堀之内地区を中心とした魚沼市のユリ切り花の出荷量・出荷金額も減少基調にあるとみられる。

## 5 魚沼市における 農業生産関連事業の実施状況

最後に、RESASの産業構造マップ「農業者分析」の農業生産関連事業の実施状況を使って、魚沼市の6次産業化の動向を確認すると、魚沼市における10年の農業生産関連事業の実施状況のうち、「農産物の加工」や「消費者に直接販売」といった取り組みは新潟県平均を若干下回っている（図表6）。

しかし、同市の堀之内地区では、ユリ切り花の生産者を中心に、食用向けとなる「ゆり根」やユリの香りを使った新商品の開発を目指す動きもみられ始めている。

図表4 全国におけるユリ切り花の作付面積及び出荷量（2015年）

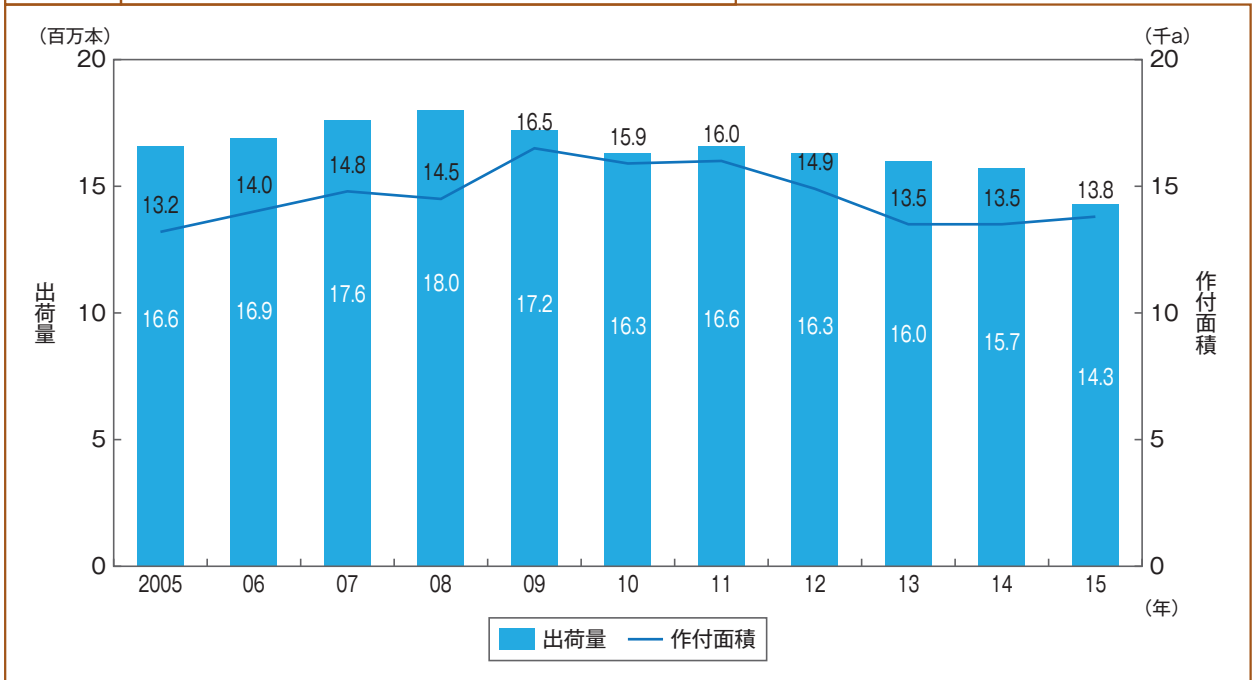
都道府県	作付面積			出荷量		
	(a)	順位	前年比 (%)	(千本)	順位	前年比 (%)
新潟	13,800	1	102	14,300	3	91
高知	9,820	2	97	16,300	2	96
埼玉	7,960	3	110	27,300	1	108
北海道	6,630	4	95	6,170	8	101
宮崎	3,610	5	92	6,510	7	66
鹿児島	3,570	6	102	7,990	5	102
福岡	3,130	7	94	7,120	6	93
千葉	3,090	8	98	8,000	4	97
福島	2,440	9	100	5,010	9	110
熊本	2,190	10	96	4,890	10	95
全 国	76,900	-	100	139,700	-	97

（資料）農林水産省「花き生産出荷統計」

（注）当年産調査は主産県を対象に実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した

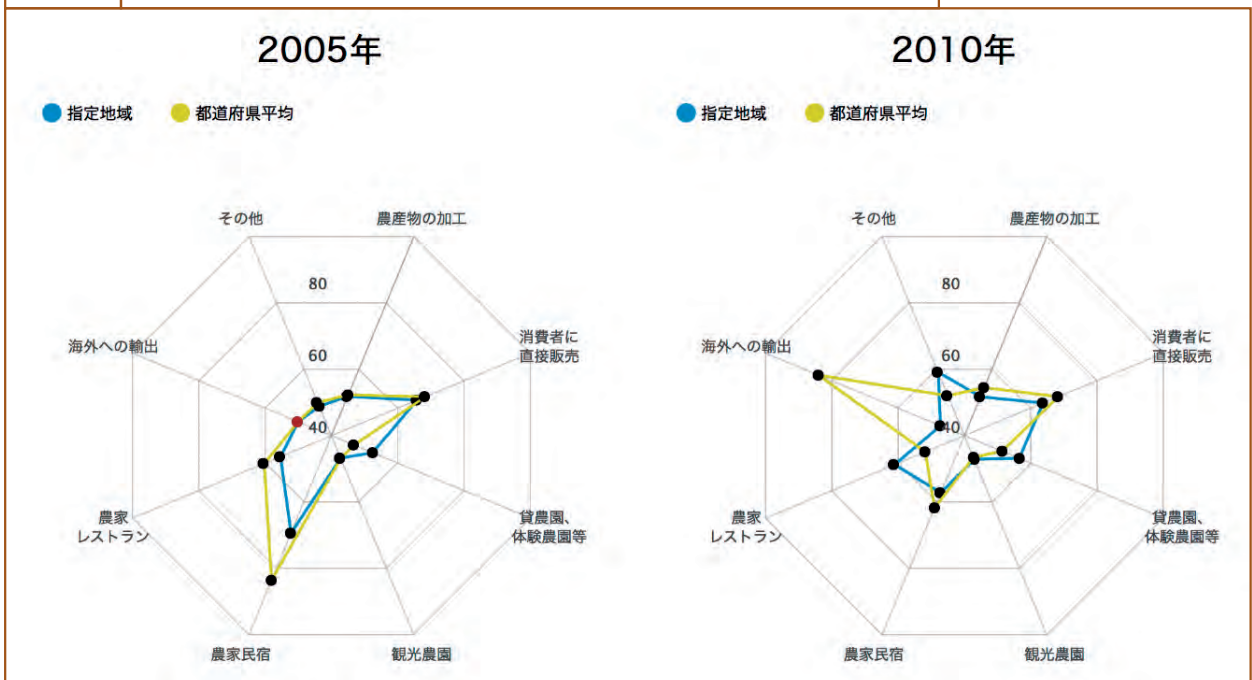
魚沼市における農業に関する分析

図表5 新潟県におけるユリ切り花の作付面積及び出荷量の推移



(資料) 農林水産省「花き生産出荷統計」

図表6 産業構造マップ「農業者分析」農業生産関連事業の実施状況 新潟県魚沼市



(資料) RESAS

[RESASの操作手順]

RESASトップ→メインメニュー→産業構造マップ→農業→農業者分析→表示レベルを指定する【市区町村単位で表示する】→【新潟県】【魚沼市】→農業生産関連事業の実施状況→レーダーチャートを表示

## ま と め

今回の分析により、魚沼市が国内有数のユリの産地であることを改めて確認することができた。

しかし、切り花全体の消費金額が長期的な減少傾向にあるなか、魚沼市のユリの出荷量も減少基調にあるとみられる。

このようななか、地域の特色ある農産物を活かした新商品の開発や新しい用途開拓などを進め、新たな販路を開拓することを通じて、魚沼市の農業の一層の活性化につながることが期待される。

魚沼市における農産物の販売金額については、一般的には魚沼産コシヒカリのブランドイメージから「稲作」に意識が向きがちであったが、RESASの分析結果から「花き・花木」（ユリ）の販売金額が最も多く、新潟県内はもとより、全国でも有数の産地であることを改めて認識した。

今後は、切り花産地としての地位を高めるだけでなく、ユリを活用した新商品の開発や販路開拓に向けた

支援など、地域内事業者との連携を図った6次産業化の取り組みを一層進め、地域農業の活性化につなげていきたい。

一方、ユリの生産に必要な環境や技術、初期投資に係る費用等簡単に現在の生産地以外での展開が図れない要素があることも事実である。そのため、RESASで確認したデータと数値に表れない現状を見極めて施策の展開を図っていくこともあわせて検討したい。

(魚沼市農林課農政室)

